

I. 融資業務

1. 有効性の評価

(1) 国民経済への多様な貢献

① 貸付の推移

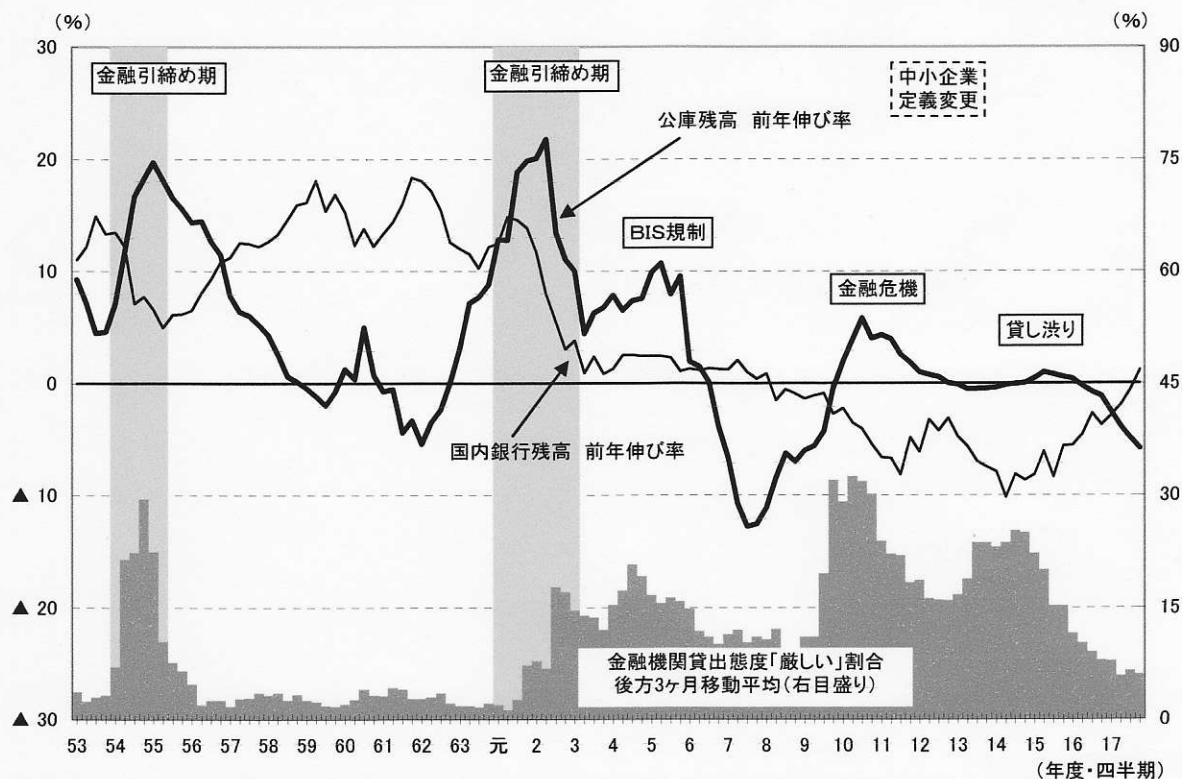
(1) 公庫の貸出残高の伸びは、民間金融機関の貸出残高の伸びとは逆相関の関係にあり、景気等の影響から融資姿勢の変動を余儀なくされる民間金融機関の貸出を量的に補完している。

(2) 特に、9年度以降に生じた金融システム不安時には、セーフティネット貸付（注）が大幅に増加している。

(注) セーフティネット貸付実績

8年度 5,863 億円 ⇒ 11年度 9,407 億円（ピーク） ⇒ 17年度 4,950 億円

民間金融機関の貸出態度が「厳しい」とする企業割合と貸出残高増減率の推移



(資料) 日本銀行「貸出先別貸出金」、中小企業金融公庫「中小企業景況調査」

- (注)
- ・国内銀行は中小企業向けの事業資金貸出残高で、銀行勘定のみ。また、5年度以降は当座貸越を含むベースで算出。2年度以降は第二地銀（旧相互銀行）を含む。
 - ・国内銀行については、8年9月以前は全国銀行ベースでの伸び率を算出した。
 - ・12年4月に中小企業の定義が変更されたため、12年6月～13年3月の国内銀行の伸び率は、新基準と旧基準の比率等をもとに当公庫において試算している。